

【県下水道局と県内全市町村、下水道公社による広域的な連携】

＜下水道局下水道管理課＞

- 同じ悩みを抱えるもの同士が集まり、課題に対して広域的に取り組み解決していくため、平成28年11月に「下水道事業推進協議会」を立ち上げた。
- 県下水道局は維持管理や建設に関する経験・ノウハウを有することから、先導的な役割を果たし、流域下水道施設の運転余力を活用し単独公共下水道の脱水汚泥を受け入れる「下水汚泥の共同処理化」を、県内初の取組として実現した。
- こうした取組は、危機管理対応に関する連携や市町村への技術支援など、下水処理以外でも広がりを見せ、本協議会が共通する課題を解決するプラットフォームの場へと進化している。

(関連ホームページ) <http://www.nga.gr.jp/app/seisaku/details/6062/>

【「よそ者、わか者、ばか者」が商店街を元気に！】

＜産業労働部商業・サービス産業支援課＞

- 商店街を取り巻く環境が大変厳しい中、埼玉県では、薄く広く行う従来型補助金のような画一的支援とは異なり、危機感が強く意欲の高い地域を県が選定し集中的に支援を行う、NEXT商店街プロジェクトを展開している。
- 対象商店街へ支援活動等を先導するNEXT商店街請負人を配置し、その先導のもと、クリエイティブな専門家集団がチームを組み、地域住民を巻き込みながら商店街に伴走してビジョンを策定し、クリエイティブでわくわくする活動を検討・実施する。
- 地域のリーダーや協力者の資質向上(人材育成)にも取り組み、新たな運営体制の構築等を推進し、次世代が誇りを持てる商店街の実現を目指す。

(関連ホームページ) <http://www.nga.gr.jp/app/seisaku/details/6071/>

【「エントリー&オーダーメイド」方式による産業団地の整備】

＜企業局地域整備課＞

- 埼玉県では、旺盛な企業立地ニーズにスピーディーに対応するため、企業の希望にかなった用地を少しでも早く提供できる方式として、都道府県では初めての取組である「エントリー&オーダーメイド」方式による産業団地の整備を実施している。
- 企業には、従来の方式に比べ2年程度早く産業団地の整備計画を把握することができ、工場建設などについての意思決定が早期に行えるというメリットがある。また、オーダーメイド整備により、企業の希望にかなった面積・形状となるよう調整することで、規模の大小等、様々なニーズに応えることができる。
- 今後も、この方式による産業団地整備を埼玉のスタンダードとすることで、企業のニーズに応え、企業とともにつくる産業団地としてスピーディーに整備していく。

(関連ホームページ) <http://www.nga.gr.jp/app/seisaku/details/6070/>